

御船町教育委員会指定
コミュニティ・スクール研究推進校

地域とともにある学校づくり 7つのQ&A



令和2年3月
御船町立七滝中央小学校

はじめに

平成31年度（2019年度）から義務教育課取組の方向に新たに「社会に開かれた教育課程の実現」が示され、各学校で育成を目指す資質・能力を子供、家庭、地域及び関係機関等で共有し、連携・協働することによりその育成を図っていく学校指導体制の構築を推進することが望まれているのは、皆さんご承知のとおりです。

本校は、御船町教育委員会から「コミュニティ・スクール」の研究指定を受け、研究主題を『「地域とともにある学校づくり」の充実を目指して』として研究を進めて4年が経過しました。

この4年間、子供たちにとっても、職員にとっても、家庭にとっても、地域にとっても、魅力ある学校であり続けるために、今、本校に勤務している私たちは何をしなければならないのかということを考えながら取り組んできて、再認識したことがあります。それは、「地域とともにある学校づくり」は「魅力ある学校づくり」そのものであるということです。

ありがたいことに、これまでの取組を評価していただき、昨年度の文部科学大臣表彰「優秀教職員組織（地域との連携・協働）」に引き続き、本年度は、教育分野において我が国最高峰の賞である「第50回博報賞」を受賞し、本校職員はもとより保護者や地域の皆さん、関係各位に大きなエネルギーをいただいたところです。

この度、本冊子『地域とともにある学校づくり 7つのQ&A』が出来上がりました。これまで4年間取り組んできた研究成果をどのようにしてお伝えしていくのかということを考えぬいた末、Q&A形式での研究成果の発表に至り、研究主任・研究副主任を中心に全職員で、写真や図表などを多く取り入れて分かりやすく整理したものです。

各学校の「地域と学校の連携・協働」の推進及び充実の一助になれば幸いです。

令和2年2月7日

御船町立七滝中央小学校
校長 大竹紳一郎



本校の「伝統芸能のぼり旗」



博報賞受賞の知事表敬

もくじ

Q 1 七滝中央小学校が「地域とともにある学校づくり」を推進していく中で、特に大切にしているポイントは何ですか。

1 P

Q 2 「学校運営協議会」(魅力ある学校づくり協議会)をどのように充実させて進めていますか。

3 P

Q 3 「学習応援団」(学習ボランティア)を充実させるための工夫について教えてください。

7 P

Q 4 「自然体験活動」に取り組むうえでの、留意点や工夫点について教えてください。

11 P

Q 5 「お返し(お礼の会、学校だより)」や「地域貢献活動」について、具体的にどんなことをしていますか。

15 P

Q 6 学校と家庭・地域をつなぐ「学校だより」の工夫について教えてください。

17 P

Q 7 「地域とともにある学校づくり」の充実のために、校内研修でどんな工夫をしていますか。

19 P

七滝中央小学校が
7つの Q&A 形式でお答えします!!



Q 1 七滝中央小学校が「地域とともにある学校づくり」を推進していく中で、特に大切にしているポイントは何ですか。

A 1 家庭・地域と学校の「双方向の関係強化」を特に大切にして連携・協働がさらに促進するようにしています。

1 「双方向の関係強化」について

家庭や地域から学校へ「支援活動」をしていただくばかりでなく、児童や職員も積極的に地域へ出かけ、地域の活性化に貢献するような「お返し・地域貢献活動」を充実させ、学校と家庭・地域がお互いに支援・応援し合う親密な関係構築を進めている。



学習応援団



自然体験活動



地域貢献活動（地域行事への積極的な参加）



お返し



2 「学校への支援活動」について

児童の学習意欲の向上や学習内容の充実のために、家庭・地域から学校へ、意図的・計画的に様々な「支援活動」をしていただいている。

『学習応援団』（学習ボランティアの本校の呼称）や、『自然体験活動』、『読み聞かせボランティア』などがある。

また、「学校への支援活動」の充実のために、校内研修を工夫して、地域理解やコミュニティ・スクール推進の研修の時間の確保を図っている。

学習応援団

Q 3 へ

自然体験活動

Q 4 へ

校内研修の工夫

Q 7 へ

3 「五者による連携・協働」について

学校と家庭、地域、子ども、行政が連携・協働して進める取組（五者連携）を日常的に意識して取り組んでいる。

特に、学校の教育目標及び校長の経営方針、児童及び学校の課題等の情報を共有し、地域とともにある学校を推進する『学校運営協議会』（本校では「魅力ある学校づくり協議会」と呼称）がその中核にあたる。

学校運営協議会

Q 2

4 「お返し（お礼の会、学校だより）・地域貢献活動」について

お世話になった方への「お返し・地域貢献活動」を工夫して行い、連携・協働の促進につなげている。

地域のお祭りや敬老会等に児童・職員が積極的に参加する『地域貢献活動』や、お世話になった地域の方々を収穫後の会食などに招待する『お礼の会』、地域の方々の学校支援の様子を情報発信する『学校だより』の発行などである。

地域貢献活動

Q 5 へ

お礼の会

Q 5 へ

学校だより

Q 6 へ

POINT

- ① 学校と家庭・地域が Win-Win の関係になることが大切です。
- ② 「読みたくなる学校だより」を工夫して作成・発行することで、情報が共有でき、連携・協働の強化につながります。



**Q 2 「学校運営協議会」(魅力ある学校づくり協議会)を
どのように充実させて進めていますか。**

**A 2 「組織を再編成」し、参加委員の理解促進や満足度を高める
ため「視覚的で分かりやすい資料」や「議事録の作成」、
「会の構成」等の工夫をしています。**

1 組織の再編成について

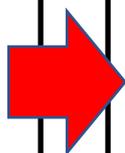
旧校区や地域の偏りなく、より実質的で活発な議論ができる会議になるように、学校運営協議会委員の構成や人数の見直しを行った。

旧校区代表5名、各地区長代表5名、学校運営協議会会長(兼地域学校協働活動推進員)1名を「学校運営協議会委員」(有償)とし、さらに、PTA三役、教育長、教育委員会担当者にも学校運営協議会に参加していただき、会の活性化を図っている。



平成27年度以前
【計10名】

- 学校評議員 【7名】
- 教育委員会担当者 【1名】
- 管理職 【2名】



令和元年度【計21名】

- 旧5校区代表 【5名】
- 各地区区長代表 【5名】
- 運営協議会会長 【1名】
(兼 地域学校協働活動推進員)
- ※以上が「学校運営協議会委員」(有償)
- PTA三役 【4名】
- 教育長 【1名】
- 教育委員会担当者 【1名】
- 管理職 【2名】
- 地域連携担当職員 【2名】

2 視覚的で分かりやすい資料について

学校は協議会の中で、教育目標及び経営方針、経営の具体的実践事項、児童及び学校の課題等について説明し、情報の共有を図っていく。その際、参加委員の理解促進を図るために、写真や図による視覚化された資料やプレゼンテーションを工夫している。



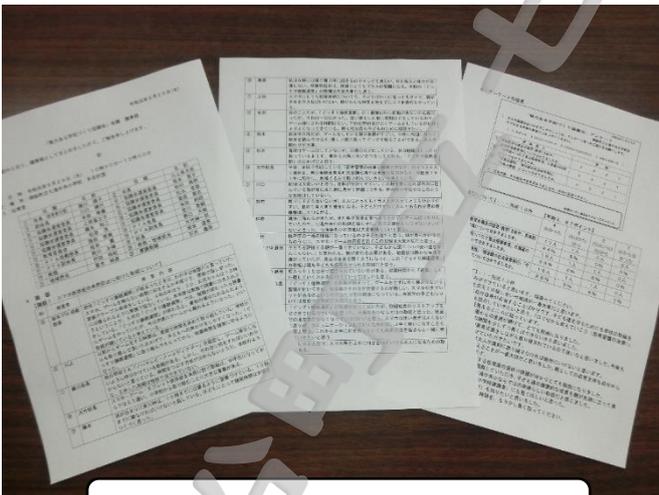
プレゼンの様子



資料の中身

3 「議事録」や「学校だより」の作成と送付について

会議内容を「議事録」と「学校だより」にまとめ、委員（欠席者含め）へ郵送している。議事録には、意見交換の発言内容やアンケート集計結果・自由記述をまとめている。職員にも回覧し、協議会の内容を共有するようにしている。



学校運営協議会議事録

「学校だより」には、学校運営協議会の内容の概要や意見交換の様子を伝える。参加委員には、お礼の気持ちを込めてカラー版を送付するようにしている。

学び合い

コミュニティ・スクール通信

七滝中央小学校だより 第181号
令和元年6月19日(水)
大竹 紳一郎 (校長)

魅力ある学校づくり協議会(学校運営協議会)を開催!!

「基礎学力向上のための3つの柱」、「睡眠の大切さの理解・実践」等の取組について説明し、皆様にご理解いただきました。

毎週水曜日の2校時に全学年で行う「特別の教科 道徳」の授業を参観していただきました。

「ぐっすり睡眠週間」の取組の効果や「スマホ・ゲーム依存症」の解決策等について意見交換しました。

協議会の皆様には、ご多用中ありがとうございました!

藤川 副会長	七滝区長代表 藤本さん	宮川 区長代表 西田さん	西部区長代表 松本さん	浅野区長代表 米田さん	東部区長代表 藤本さん	藤野区長代表 牧村さん	村田 教頭
基本PTA 母体部長	教育委員会	PTA 副会長	PTA 副会長	基本 教頭			

藤野区長代表 上田さん

藤川 校長

川上 校長

大竹 校長

北野区長代表 川口さん

上野区長代表 松永さん

北野区長代表 藤本さん

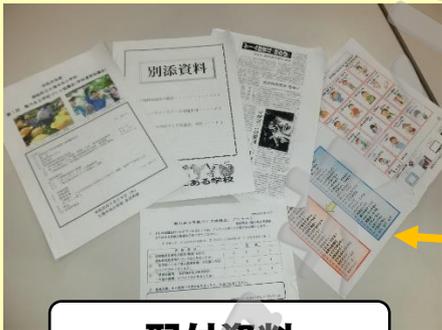
藤野区長代表 米田さん

5月29日(水)に、本年度、第1回目の「魅力ある学校づくり協議会」を開催しました。藤川校長(本田教育長代理)、各区長代表、旧校区代表、PTA三役、町教育委員会担当の皆様にご出席いただき、大竹校長が教育目標及び方針等について資料等を用いて分かりやすく説明しました。全員で各学級の授業を参観しました。その後、「スマホ・ゲーム依存症の未然防止」に向けて活発な意見交換ができました。

4 学校運営協議会の実際（会の構成の工夫）について

内容の充実や参加委員の満足度を高めるために、学校からの説明だけでなく、意見交換や授業参観等を取り入れ、会の構成の工夫を図っている。

「学校運営協議会」（「魅力ある学校づくり協議会」）の実際 ～令和元年5月28日実施～

会議の構成	会議の概要
<p>1 開会（10：00～）</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 学校からの説明 (1) 学校教育目標及び経営方針、具体的実践事項について (2) 新「中学校へつなぐ重点指導事項の取組 教師用」について (3) 「学習応援団」「部活動の社会体育移行」「今後の構想」について</p> <p>社会に開かれた教育課程やカリキュラム・マネジメントの観点から、学校教育目標などの共有と意見交換は大変重要である。</p>	<p>会議の概要</p>  <p>配付資料</p> <p>写真等による視覚的で分かりやすい資料と大画面スクリーンでのプレゼンテーションにより、情報の共有化を図る。</p>  <p>説明の様子</p>
<p>5 授業参観</p> <p>児童の様子や教師の指導を実際に見て、その後の意見交換につなげている。タブレットを使った授業や、外国語の授業など、興味深く参観されていた。</p>	 <p>委員による授業参観の様子</p>
<p>6 集合写真撮影</p>	<p>「学校だより」に掲載する集合写真も、会の構成に入れておく。</p>

7 意見交換



意見交換の様子

【スマホ依存症の未然防止に向けて 家庭・地域でできること】

- 区長1**：スマホにしても就寝時刻についても、子どもばかりに言ってもダメで、親が手本を示さねばいけない。親がみんな時間を考えずにスマホ操作をやっている。
- 区長2**：熊本市の孫だがゲームをしている顔の表情がすごい。9時に布団に行って絵本を読んでやると優しい顔に戻って眠る。大人の関わりが大事。
- 区長3**：普段はゲームをしていないが日曜日にしている。孫は睡眠をしっかり取っているようで朝から元気に挨拶をしてくれる。取組のおかげだと思う。
- 校長**：今後、本校で作成している「思考習慣の改善と睡眠の大切さ」のイラスト入り資料を、青少年健全育成町民会議七滝中央支部の協力のもと、校区全725件に配付し地域ぐるみで取り組んでいきたいと考えている。
- 区長4**：イラストが入るととても分かりやすい。改めて考え直す機会になる。子どもだけでなく大人である自分達の健康管理にもつながる。
- 区長5**：依存症の一番の犠牲になっているのは子ども達だと思う。頭が柔らかい子どものうちに、スマホ・ゲーム依存症を防ぐこの取組は大変大切だと思う。

話し合いを受けて、「思考習慣の改善」と「睡眠の大切さ」のオリジナルシートを校区全戸配付できた。地域ぐるみで子どもの健康課題に向き合うことにつながった。

8 アンケート記入

評価により、学校の目標や方針、地域との連携活動について情報の共有ができたかを確認している。

「魅力ある学校づくり協議会」アンケート
御船町立七滝中央小学校長
1 本日の協議会はいかがでしたでしょうか。アンケート等へのご協力をお願いします。当ではまる評価の数値に○をつけてください。
(4:分かった 3:どちらかといふ分かった 2:どちらかといふ分らなかった 1:分からなかった)

評価項目	評価
① 学校教育目標及び経営(教育)方針や、具体的実践事項について分かりましたか。	④ 3 2 1
② 「中学校へつなぐ重点指導事項」の取組の内容について分かりましたか。	④ 3 2 1
③ 「学習応援団」「部活動の社会体育移行」「今後の構想」について分かりましたか。	④ 3 2 1

2 意見交換、その他気づき等がありましたら、自由に記述ください。
スマホ依存症の未然防止に向け各家庭の現状や課題が分かりやすくなり、効果的になった
協議会へのご参加ありがとうございました

9 閉会

10 給食試食会(12:00~)

参加委員の給食試食会も併せて実施し、自校式給食や食育への関心を高める工夫をしている。



給食試食会の様子

POINT

- ① 「学校運営協議会」を学校の説明責任を果たす絶好の機会としてとらえます。
- ② 学校総体としての魅力ある取組を伝えるため、会の持ち方を工夫したり、画像や動画、分かりやすい資料を駆使して参加者の満足度を高めます。
- ③ 議事録は参加者送付だけでなく、職員にも回覧して内容を共有します。

**Q 3 「学習応援団」(学習ボランティア)を
充実させるための工夫について教えてください。**

**A 3 児童の学習支援を活性化するために、「組織づくり」・
「運営会議」・「活動のパターン化」等の工夫をしています。**

1 組織づくりについて

組織づくりに向けた重点ポイント

(1) 学校総体として対応・活用できるシステムづくり

各担任が個々に対応するのではなく、学校として会議や実施期間を設定する。

(2) 地域の人々が身近に感じる学校づくり

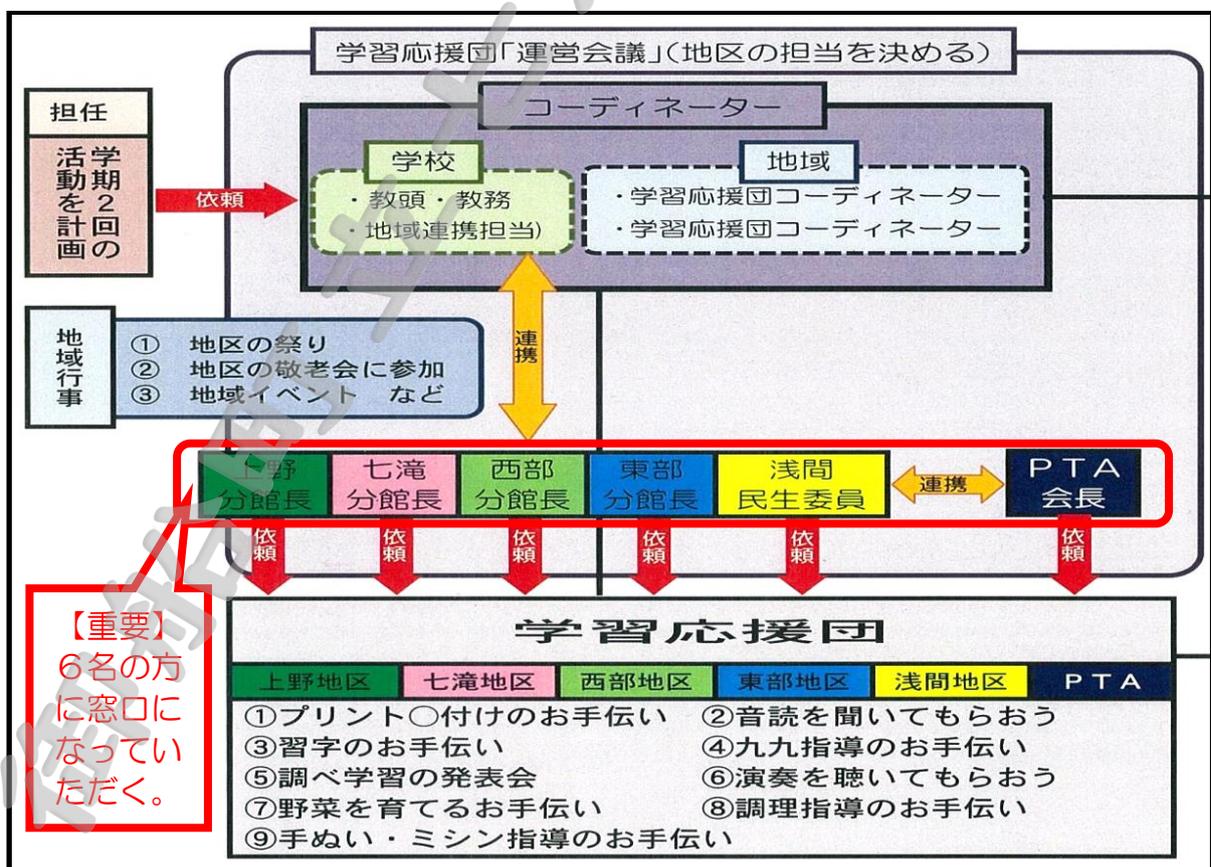
全ての旧校区から地域の方々に来校していただき、学校を身近な存在として感じてもらうために、各地区在住者（分館長等）に担当を依頼する。

(3) 地域人材の掘り起こし

各地区在住者（分館長等）に窓口になっていただくことで、学校の教育活動を応援していただける方の人材発掘も依頼する。

「学習応援団」の運営委員（11人）

各地区公民館分館長5名（浅間地区は分館長のポストがないため民生委員）、
地域コーディネーター2名、PTA会長、教頭
地域連携担当職員2名（教務主任、研究主任）



2 「学習応援団」活用の一連の流れについて

事前	会議前	担任が学期毎に2回の計画（内容・時期・希望人数）を立案
	運営会議	各地区の担当学年を決定
	2週間前	担任が窓口の方（公民館分館長等）に電話で内容確認・日程決定
	1週間前	参加人数等の最終確認

当日	※活動時間は、2校時（9：40～10：25）に固定
----	---------------------------

事後	活動の様子や来校者の画像等を活用した「学校だより」の発行
----	------------------------------

3 運営会議について

運営会議の内容は、大きく以下の3点。

- ①各学年の「学習応援団」の活動内容の説明
- ②各学年の担当地区の決定
- ③各地区の代表と各学年の担任による日程や内容の打合せ



運営会議の様子

運営会議と「学習応援団」実施の計画表（例）

1学期	2学期	3学期																																																																																																																																					
運営会議 5/9(木)	運営会議 9/30(月)	運営会議 1/17(金)																																																																																																																																					
↓	↓	↓																																																																																																																																					
学習応援団活動	学習応援団活動	学習応援団活動																																																																																																																																					
5月 第1回	10月 第3回	2月 第5回																																																																																																																																					
<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
			1	2	3	4																																																																																																																																	
5	6	7	8	9	10	11																																																																																																																																	
12	13	14	15	16	17	18																																																																																																																																	
19	20	21	22	23	24	25																																																																																																																																	
26	27	28	29	30	31																																																																																																																																		
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
		1	2	3	4	5																																																																																																																																	
6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																	
13	14	15	16	17	18	19																																																																																																																																	
20	21	22	23	24	25	26																																																																																																																																	
27	28	29	30	31																																																																																																																																			
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
						1																																																																																																																																	
2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																	
9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																	
16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																	
23	24	25	26	27	28	29																																																																																																																																	
30	31																																																																																																																																						
6月 第2回	11月 第4回																																																																																																																																						
<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																											
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
						1																																																																																																																																	
2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																	
9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																	
16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																	
23	24	25	26	27	28	29																																																																																																																																	
30	31																																																																																																																																						
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
					1	2																																																																																																																																	
3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																	
10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																	
17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																	
24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																	

POINT

- ① 各地区在住者6名（分館長等）に、学習応援団の適任者への協力依頼だけでなく、人材発掘の窓口にもなってもらいます。
- ② 各学期の始めに運営会議を開催して、担任も含めた打合せを行います。

4 時間設定の統一と活動のパターン化について

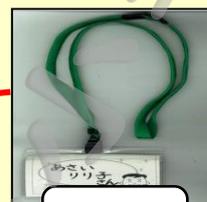
原則として、「学習応援団」の活動時間は全て2校時（9：40～10：25）に統一している。地域の方が活動しやすい時間帯であり、双方の行き違いがなくなるというメリットが大きい。

また、学年や担任によって大きな差が出ないように、1単位時間を3分割して大枠を示している。

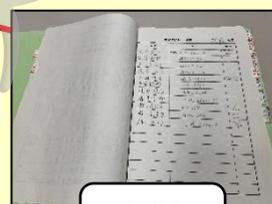
学習応援団の活動の流れ

時間	学習応援団の方への対応内容	担当者
学習前	会議室へ案内 ・名札作成 ・名簿記入	用務 管理職
	担任と打ち合わせ	担任
	児童の迎えて教室へ	児童
学習中	活動の様子を写真撮影	養護・用務
学習後	会議室へ案内 ・口頭での感想の聞き取り ・写真撮影	担任 管理職

感想の聞き取りや集合写真を学習後の対応として位置付けたことで、その後の「学校だより」発行の作業がスピーディーに行われるようになった。



名札



名簿

名簿には、名前（漢字）・住所を書いている。学校だより、お礼のハガキを出すときに役に立つ。

5 活動の実際について

一人ひとり手を取って指導していただいたり、グループに入って一緒に考えていただいたりしている。一緒に活動していただくことで、自然と会話や笑みがこぼれ、和やかな雰囲気で行うことができる。児童の学習意欲や学習パフォーマンスが向上する。

(1) 活動の様子



3年生：毛筆練習



4年生：わり算の筆算



5年生：フォークダンス



6年生：エプロン作り

(2) パターン化の実際 (3年: 社会「学校のまわり」)

一単位時間を三つに分割して、応援団の方も満足する活動にする。

学習過程	学習活動	活動の概要
出会い 10分	<p>1 学習応援団の方を児童が案内して活動する教室へ行く。</p> <p>2 最初に出会いの活動や自己紹介を行う。</p> <p>名前を覚え、親しみをもって活動できるよう、自己紹介にも時間をかける。学習応援団の方には、名札を付けていただく。</p>	<p>● 貨物列車の遊びを行い、お互いの緊張をほぐす時間を設定した。感想も話していただき、和やかな雰囲気となった。</p> <p>● 一人ひとり学習応援団の方にお礼を言いながら、自己紹介をした。</p>
活動 25分	<p>3 学習応援団の方と児童との対話ができるような活動にする。</p> <p>4 できるだけ簡単な活動を選ぶように気をつけた。</p>	<p>● 学級で作った学校周辺の地図をもとに、探検の様子を発表した。学習応援団の方にも以前の地域の様子を紹介していただいた。</p>
お礼 10分	<p>5 来校していただいた方へ感謝の気持ちを伝える。</p> <p>6 感想やお礼など、ふれあい活動を入れる。</p>	<p>● 最後に手遊びをしたり、肩もみをしたりして感謝の気持ちを伝えた。</p>

活動では、交流による対話が生まれるような活動、地域の方にとって難しい内容ではなく簡単な活動、地域の方が「役に立ってよかった」と感じられるような活動を工夫する。

学習計画の中にお礼の時間も入れておき、しっかりと感謝の気持ちを伝えられるようにする。肩もみなど、ふれあい活動を入れることで、「来てよかった」と思っていただけよう工夫する。

6 事後の取組について

学習応援団でお世話になった方へは、感謝とお礼の気持ちを込めて「学校だより」A4 サイズカラー版を送っている。
※「学校だより」については、Q6 (P.17) で詳しく説明。

POINT

- ① 活動開始時刻の9:40は、学校と応援団双方にとって絶妙の時間設定になっています。

学び合い
コミュニティスクール通信

7月号の学校だより「思い」を
平成28年10月18日(木)
大竹 幹 郎 (校長)

1年生学習応援団「花紙で作品づくり」!!

10月11日(金)の1年生の手工の学習に、山田副校長、山田学務課長、川原教務主任が来てくださり、やわらかい紙を準備してくださって作品づくりを助けてくださいました。思い、花紙でつくった作品が、とても可愛く、おもしろいので、ぜひぜひお見せしたいと思います。

自己紹介タイムでは、子ども達の思いで準備した「思いの紙」で自己紹介をしていただきました。

手が止まっている子ども達に「ここにこの色を貼ってね」と声をかけ、

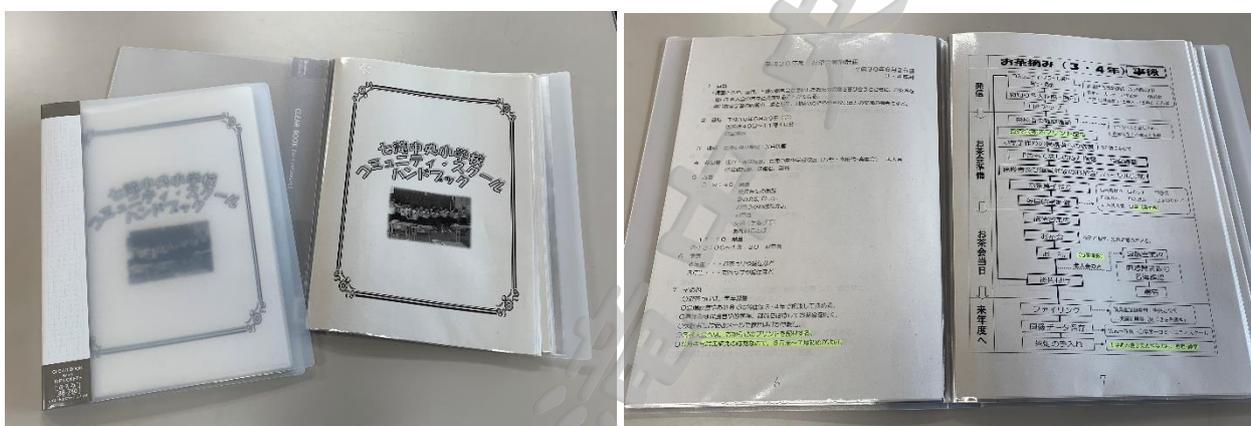
学校だより

Q 4 「自然体験活動」に取り組むうえでの、留意点や工夫点について教えてください。

A 4 活動の「見える化」を図るためのハンドブックを作成して、誰もが活用し、活動をスムーズに行えるようにしています。

1 活動を「見える化」するハンドブックの作成について

職員の中で自然体験活動の情報を出し合い、体験活動の計画や内容を時系列にして分かりやすくまとめている。



「七滝中央小学校 コミュニティ・スクール ハンドブック」

(1) 体験活動内容の書き出し
年間の体験活動について、それぞれの活動内容を事前、当日、事後に分けてマンドラートに書き出した。

(2) フロー図作り
マンドラートに書き出した活動を時系列に並べ、フロー図を作成した。

準備物の確認 写真撮影	児童への再指導	来ていただいた方への 飲み物の準備
児童の言葉のハナハチ	懸案事項 茶摘み当日	現地の安全確認
児童の健康状況 の確認	中心になつた方への朝 からの連絡	係分担の確認

マンドラート



時系列にして

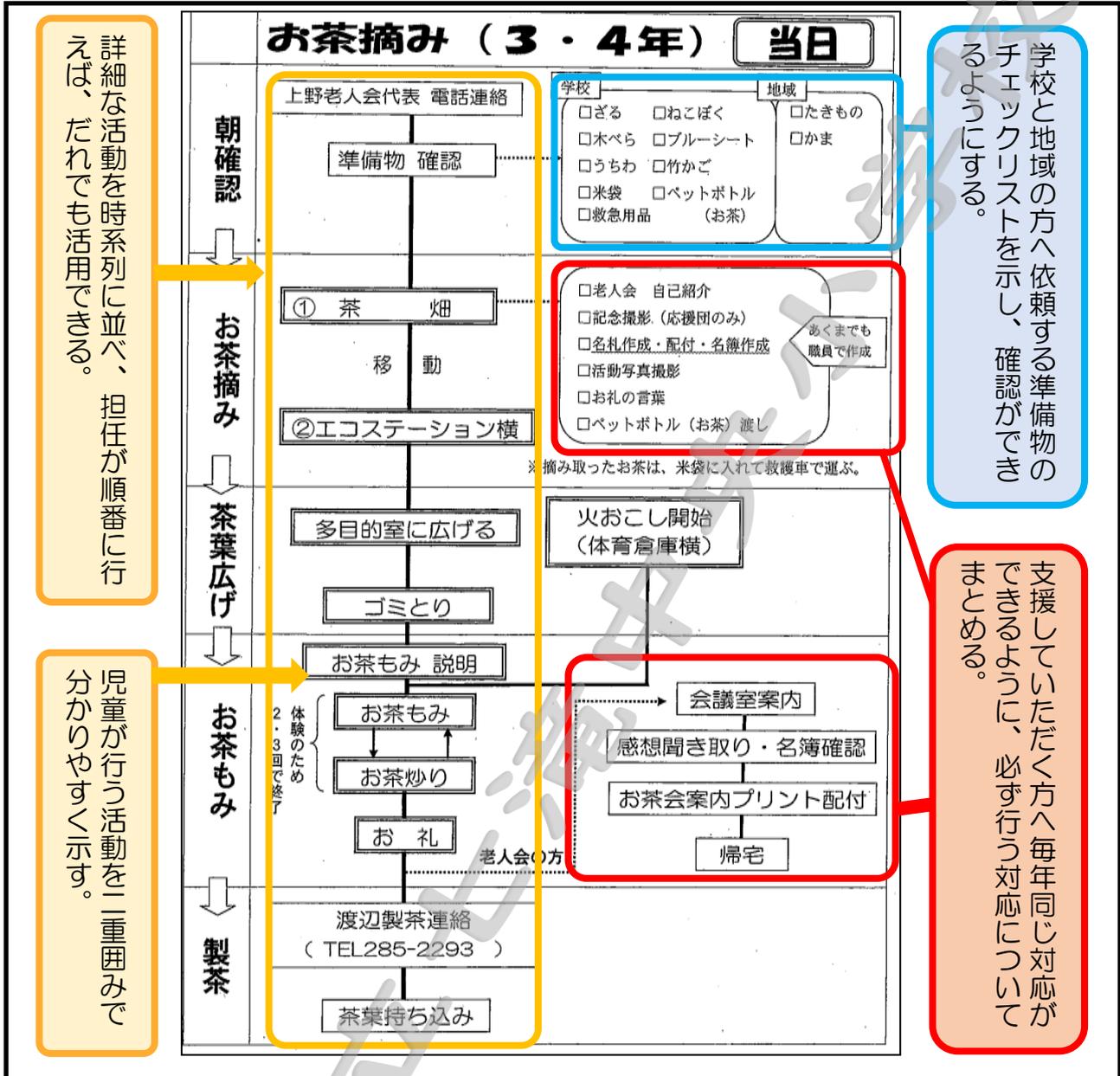


全員で検討



修正、仕上げ

フロー図（例）



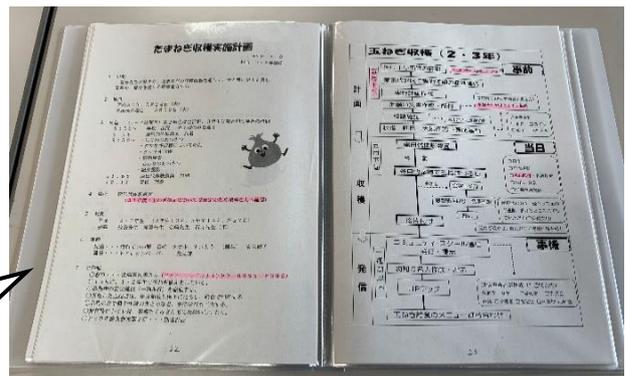
(3)「コミュニティ・スクール ハンドブック」完成

フロー図と実施計画案や依頼文書等を合わせて「七中小 CS ハンドブック」として20部を作成し、全職員に配付することで、いつでも見ることができるようにした。

(4) ハンドブックの修正と変更

自然体験活動を続けていく中で、活動内容が改善されたり、地域の担当者が変わったりする場合がある。その際には、職員全体で変更内容を確認し各ハンドブックに反映していく。

変更をマーカー等で書き込んだハンドブック



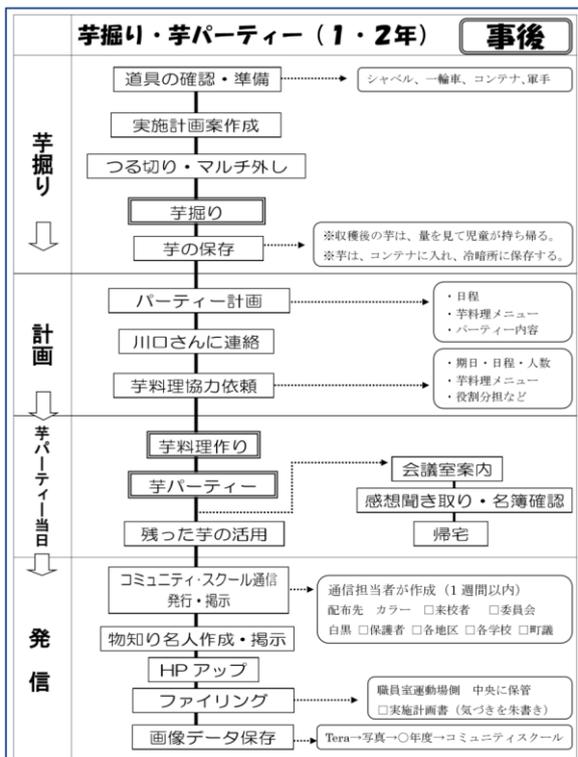
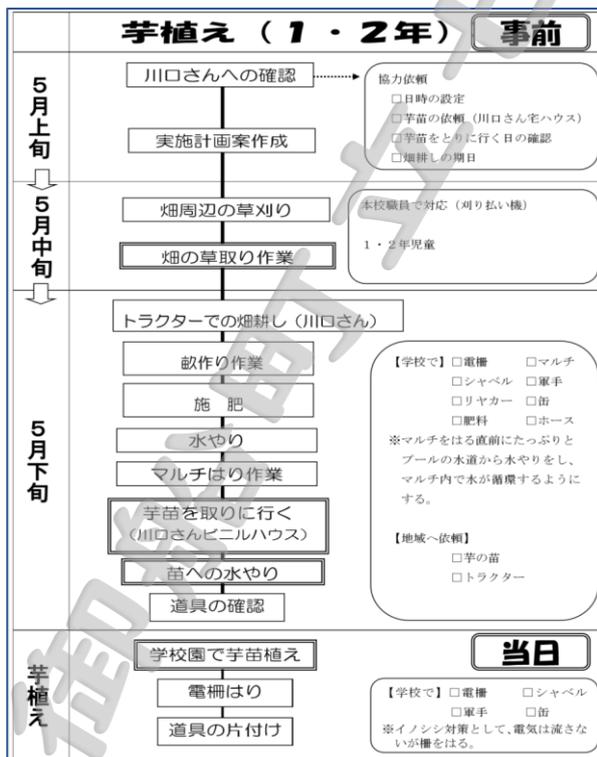
2 「コミュニティ・スクール ハンドブック」の内容について

「七中小 CS ハンドブック」には、表紙の裏に目次と年間計画表を付けて、見通しと容易な検索ができるようにした。また、それぞれの活動のフロー図には、活動の実施計画案と依頼文等を付けて、フロー図と見比べて活用しやすいように工夫している。

「地域とともにある学校」 年間計画		御船町立七滝中央小学校											
学年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	【学習応援団】			計算〇付け宴	朗読劇発表会			たし算・ひき算		自動車比べ会		時計・すごろく	
	【体験】		梅ちぎり生 ジュース作り生 芋苗植え生					梅ジュース パーティー生		芋収穫 普通び生		玉葱苗植え生	
	【貢献】							敬老東部・上野					
2年	【学習応援団】			計算〇付け宴	音楽劇招待音			音楽会音		かけ算九九集			かけ算九九の まとめ集
	【体験】		梅ちぎり生 ジュース作り生 芋苗植え生 玉ねぎ収穫生	玉ねぎ給食生				梅ジュース パーティー生		芋収穫 普通び生		玉葱苗植え生	
	【貢献】							敬老東部・上野					
3年	【学習応援団】			かけ算九九集	林田能寛さん の学習通			戦争のころの くらし国		農家の仕事 社		鉛筆削り・か るた社	
	【体験】		お茶摘み総 玉ねぎ収穫総	お茶会総 玉ねぎ給食総				敬老東部・上野	祭典のむら 里祭り				
	【貢献】							敬老東部・上野					
4年	【学習応援団】			消防団の仕事 社	そろばん集					おはよしのり ズム作り音		見学旅行のま とめ社	聞き取りメ 百人一首 国
	【体験】		お茶摘み総	お茶会総									
	【貢献】							網平蔵祭り					
5年	【学習応援団】			手縫い指導家	地域の方ヘ インタビュー				ミシン縫い集		ご飯とみそ汁 作り集		おはぎ作り 集
	【体験】			田植え集					稲刈り集				
	【貢献】							網平蔵祭り	七滝公民館 祭り				
6年	【学習応援団】			紹介パンフレ ットの発表会 葉書の書き方 指導会	紹介パンフレ ットの発表会 葉書の書き方 指導会			戦争のころの くらし集		エプロン作り 集			感謝の会 集
	【体験】												
	【貢献】		七滝復興祭			祭ふれあい夏 祭り	祭ふれあい夏 祭り	祭ふれあい夏 祭り					
行事						青少年健全育成 会主催 「ふれあい活動」 賞贈7.6.0周年	平蔵祭り			もちつき会			青少年健全育成 会主催 「ふれあい活動」

年間活動計画表

学習応援団は黒、地域の体験活動は青、地域貢献活動は赤で示している。



事前・当日・事後に分けて示したフロー図

3 活動の実際について

ハンドブックを活用することで、どの職員が担当してもスムーズに活動を行うことができている。職員に人事異動があってもミスなく進めることができる。



1・2年生：芋ほり



2・3年生：玉ねぎ収穫



3・4年生：茶摘み



5年生：田植え

4 事後の取組について

自然体験活動でお世話になった方へは、お礼の会へ招待したり、ハガキを出したり、地域行事に参加したりすることでお返しをしている。児童も職員も積極的に地域と関わることで、双方向の関係の強化に努めている。

※「お返し・地域貢献活動」については、Q5（P.15）で詳しく説明。



ハガキ



お礼の会



カレンダー配り

POINT

- ① フロー図にすることで、赴任したばかりの職員や初めてその学年を担当する職員でも、活動の見通しが持てるハンドブックになっています。



3 地域行事への計画的・組織的参加について

地域の祭りや敬老会に出向き、児童が太鼓や伝統芸能を披露している。児童だけでなく、職員も地域行事へ積極的に参加することで、双方向の関係の強化に努めている。また、地域行事への参加希望のプリントは全児童に配付しており、他地域からの参加も増えている。



七滝公民館祭り



北田代美緑のむら里祭り



宮部鼎蔵顕彰会慰霊祭



田代東部地区 長寿を祝う会

児童は、とても意欲的に地域行事へ参加している。児童の参加も増え、旧校区全域のお祭り等の催しもますます盛り上がっている。



平蔵祭り

POINT

- ① それぞれの活動や取組は、学校と家庭・地域との双方向（Win-Win）の関係強化に向けて、欠かせない取組となっています。

Q 6 学校と家庭・地域をつなぐ「学校だより」の工夫について教えてください。

A 6 分かりやすい紙面づくりや配付方法の工夫、校内掲示の工夫をしています。

1 分かりやすい紙面の工夫について

「学校だより」作成時のポイントは以下の3点。

- ① **1紙面1話題**とし、**画像中心**で読みやすいこと
- ② 読み手を引きつけるインパクトのある**見出し**の工夫をすること
- ③ 地域の方全員がはっきり分かる**写真とフルネーム**を掲載し、学習応援団の方々の紹介をすること

学び合い

コミュニティ・スクール通信



七滝中央小学校だより 第184号

令和元年6月24日(月)

大竹 紳一郎 (校長)

3年生の学習応援団「学校のまわり探検発表会」



増本さん

増永さん

釜川さん

藤本さん

土田さん

宮川さん

6月4日(火)に、上野地区の増本和男さん、増永信義さん、釜川長生さん、藤本繁美さん、土田康繁さん、宮川一幸さんにおいでいただきました。

3年生が「学校のまわり探検」をして、まとめた地図と学んだことの発表を聞いていただき、今と昔の上野の様子の違いを教えてくださいました。

今とは違う地域の様子に子どもたちはびっくり!!



「え～！そんなところに!!」「お肉屋さん!?!」「もうひとつ病院!」今とは違う学校の周りの様子を聞かされた子どもたちは目を丸くしていました!発表を聞いていただくだけでなく、昔の様子をお話ししていただくことで地域の変化も学ぶことができました。授業の最後には一緒に歌いながら手遊びをし、笑顔いっぱい時間となりました。おいでいただいた皆さん、たいへんありがとうございました。

1紙面1話題にすることによって、お礼状としても活動記録としても活用できる。

この文だけで活動が分かる**見出し**を工夫。

画像中心で見やすい紙面にしている。

地域の方全員がはっきり分かる**写真とフルネーム**の掲載。学習応援団の方々の紹介。

地域の方の画像や指導された内容、コメントに加え、児童の反応や**お礼の言葉**等を掲載している。

2 「学校だより」の作成、配付までの流れについて

行事（学習応援団・自然体験活動・お祭り等）

①学級担任や各担当で学校だよりの素案を作成 ②校長によるチェックと校正

教務主任が印刷

教頭と用務員で発送業務

学習応援団等でお世話になった方へは、お返しとしてカラー紙を配付

地域用へ152部配付（校区全戸回覧）

児童・保護者用51部配付

教育委員会、町内の各学校、町議に配付



3 校内掲示の工夫について

「学校だより」は来校者がすぐ目につく場所に見やすく掲示することにより、興味をもっていただいたり話題に上ったりする。また、職員が取組を振り返ることができ、協力していただいた地域の方の顔と名前も確認できる。



A3 に拡大し、学校の玄関と階段に掲示

感謝の「心」をお届けするだけでなく、地域での話題や学校と家庭・地域のつながりとなっている。

POINT

- ① 1紙面で1話題に限定して、分かりやすさを大切にしています。
- ② 学校に関わっていただいた地域の方々の笑顔の画像を掲載することで、校区の皆さんに学校をより身近に感じていただいています。

Q 7 「地域とともにある学校づくり」の充実のために、校内研修でどんな工夫をしていますか。

A 7 職員の地域理解を深めるために意図的・計画的な研修を行っています。また、校内研修の計画を「コミュニティ・スクール」「学力充実」「会議等」の3つに細分化して計画を立てています。

1 校内研修の細分化について

限られた校内研修の時間の中で、学力充実に向けた研修や各種研修の充実だけではなく、コミュニティ・スクールの研究推進を図っていく必要がある。そのために校内研修の年間計画を「会議等」「コミュニティ・スクール」「学力充実」の3つに細分化し、それぞれの研修時間を確保している。細分化することで、それぞれの研修内容が一目で分かり、計画的にコミュニティ・スクールの研究推進のための研修を進めることができている。

月	日	曜	内容			提案
			会議等	コミュニティ・スクール	学力充実	
4	2	木	職員会議			教頭・坂本
4	3	水	職員会議			教頭・坂本
4	10	水		今年度の取組について	今年度の取組について	坂本・下田
4	17	水	職員会議 人権教育について	仮説、視点について		教頭・下田・岩瀬
4	24	水	家庭訪問			
5	1	水	天皇即位日			
5	8	水		年間計画、CSハンドブック確認、学習応援団の流れ確認	学習の約束定着へ向けて	下田
5	15	水			道徳模擬授業	池上
5	22	水	職員会議		事前研1（5年）	教頭・須藤・下田
5	29	水	子どもを見つめる会 ロング			岩瀬
6	5	水			授業研1（5年）	須藤・下田
6	12	水			指導主事講話	坂本・下田
6	19	水	職員会議		道徳事前研2（6年）	教頭・須藤・岩瀬
6	26	水	水俣病をめぐる人権について・情報教育		外国語研修	岩瀬・馬場・須藤
7	3	水		暑中見舞い提案	道徳授業研2（6年）	須藤・岩瀬・下田

3 分割の校内研修年間計画

コミュニティ・スクールの研究を進めながら、担任全員が授業力向上の研修も実施する。

2 意図的・計画的な地域理解研修について

職員の地域理解を深めるために、夏休みに職員が現地に出向き、地域の方を講師に地域の教育資源について研修を行っている。校区には、継承されている伝統芸能や功績を残した先人、貴重な史跡が大変多く、職員もそれらを学ぶことで校区理解を深められるようにしている。

年度	郷土史学習内容	地区
25	元禄・嘉永井手	田代東部 上野
26	大宮神社、寅舞	上野
27	吉無田森林、浅ノ藪地区	田代東部
28	寅舞（実演）	上野
29	獅子舞・「響」太鼓 化石広場	田代西部 田代東部
30	七滝、藤木牧場	七滝 田代東部
R1	元禄・嘉永井手	田代東部 上野



元禄・嘉永井手研修



「響」太鼓の由来の研修

3 研修時間の確保について

研修時間を充実したものにするため、日課を統一し時間配分も厳密に行い研修を進めている。また、職員室前面には研修計画ボードを掲示し、職員が見通しをもって研修に参加できるようにしている。

校内研修計画	
12/22	職員会議 命教育・教育・研究
1/9	職員会議 研究関係
1/17	職員会議 研究関係
1/24	研究関係 (資料検討)

研修計画ボード

第1回 校内研修 資料

平成31年4月10日(水)
研究主任

◆目的 (1) 本年度の研究について見通しをもつ。

◆場所 会議室
◆時間 15:40~16:50

- 学力充実⑩(坂本・下田)
 - 基礎学力定着のための3つの柱の取組(マニュアル参照)
 - 漢字スキル
 - 都道府県名テスト
 - かけ算九九テスト
 - 家庭学習の手引き
 - 国語科の研究授業及び授業研究会の実施
 - 授業研チェックシートについて
 - 話型
 - 授業研究会事後研の実施方法
 - その他
- コミュニティ・スクールについて⑩(下田)
 - 昨年度・本年度の研究について
【研究主題】
「地域とともにある学校づくり」の充実を目指して
 - 学習応援団について
 - C Sハンドブック確認・修正入れ
- まとめ

研修資料の表紙



POINT

- 3分割して組み合わせることで、コミュニティ・スクールと学力充実の研修の「両立」を図っています。

おわりに

本校の教育活動の特色が、一目瞭然で分かる場所があります。これまで発行した「学校だより『学び合い』」を掲示した玄関ホールです。「玄関は家の顔」と言われますが、まさに本校の玄関は、本校の特色である「地域とともにある学校」を強く表現している空間となっています。学校だよりは、3年前から通算で300号近くも発行することができました。

本冊子でも説明しているとおり、この学校だよりが実によくできています。何より「地域の方々（ご高齢の方も含めて）が読みやすい」様々な工夫がなされています。分かりやすくインパクトのあるタイトル文字、小さすぎない本文の文字フォント（13ポイントに統一）、文字量が少ないがゆえに大切にしている文言や表現。発行まで職員で何度も何度も吟味を繰り返し、1つの学校だよりが完成されているのです。

さらに、地域の方のフルネーム入りの集合写真も掲載されているため、新しい職員も学校だよりをもとに、地域の方々の顔と名前を確認することで深くつながることができています。

来校された方が足を止め、写真を見ながら談笑される姿がよく見られます。地域の皆さんから「毎回見るのをとても楽しみにしています。」「掲載されるのが楽しみです。」「久しく会っていない人が掲載されたのを見て懐かしかった。」「これからも続けていってほしい。」などの感想をいただいています。

この学校だよりは、校区全戸（725戸）に回覧もしています。学校だよりを発行することで、地域での話題となり、学校と家庭・地域のつながりを深めることに大いに貢献しているところです。

今後とも、トライ&エラー&トライの精神を大切に、「地域とともにある学校づくり」をさらに充実・発展させ、地域の方々に元気と感謝の気持ちをお届けする学校だよりを発行し続ける所存です。



玄関ホールの「学校だより」

〈五者連携に向けた学校だより〉

学び合い
コミュニティ・スクール通信



七滝中央小学校だより 第247号
令和元年12月25日(水)
大竹 紳一郎 (校長)

「小学校6年間で身に付けたい力10」を作成！



中学校へつなく 重点指導事項の取組 (教師用 振り返り)

重点項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 朝、自分で起きる (起床ルーティン)												
2 睡眠の大切さの理解・実践												
3 ハンカチ携行												
4 思考習慣の改善 (ロクセ・戻りチェック・あいせつ)												
5 学習中の正しい姿勢												
6 身に付けたい3つの力(人権)												
7 基礎学力向上のための3つの柱												
8 宿題・提出物の徹底												
9 敬語で話せる (その場で宿題)												
10 虫歯治療の本人・保護者への働きかけ												
校長												
教頭												

教師用

本校では、「中学校へつなく重点指導事項の取組 教師版 振り返り」で、職員が毎月の取組を振り返りながら指導の充実を図っていますが、これは、「小学校6年間で児童に付けさせたい力」です。

この度、児童にもわかりやすいように「児童用」を作成しました。

11月29日の学校集会で児童へ説明した後、学級での毎日の指導に生かしています。

小学校6年間で身に付けたい力10

御船町立七滝中央小学校

- 朝、自分で起きる(自立への第一歩)
- 睡眠の大切さの理解・実践
- ハンカチ携行
- 思考習慣の改善
- 学習中の正しい姿勢
- 身に付けたい3つの力(人権)
- 基礎学力向上のための3つの柱
- 宿題・提出物の徹底
- 敬語で話せる
- 歯を大切に(治療も含めて)

児童用

〈研究同人〉

大竹紳一郎
下田景子
古里ひかる
松尾梨香

村田裕紀
岩瀬知安季
石井美保
田中君子

高木裕彦
塚本葉子
吉山典子
栗崎薫

坂本達男
馬場貴浩
島崎志穂乃

池上幸
須藤昂
吉田真美

御船町立七滝中央小学校



地域とともにある学校

御船町立七滝中央小学校

御船町立